※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　国際文化科

教科	（学）国際文化	科目	英語問題演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	TACKLE 40 / REACH 40 / REACH30（リスニング） 共通テストリスニング分野別 10 mins　（エミル） READING CORE for 共通テスト						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報や考えなどを一定の時間内に的確に理解し、自らの考えを深める能力を一層伸ばします。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話されるさまざまな分野のスピーチや対話、討論、講義などをメモをとりながら聞いて、情報や考えなどの概要をとらえることができる。 ・日常的な会話から社会的な話題や時事問題などさまざまな種類のテーマに関する会話やスピーチ、講義などを聞いて､内容に関して、英語で質疑応答できる。 ・それぞれの情報の間の論理的な関係について理解することができる。 ・自然な速さで話されるニュース、テレビ番組や映画などを、映像をヒントに要点を聞きとることができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら聞くことができる。	・数段落から成るトピックの評論文や説明文(700 語程度)を一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、概要をとらえることができる。 ・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを精読して、情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・評論・エッセイを表面的な意味理解をしたうえで、その書き手の意図や目的などを理解することができる。 ・パラグラフ内の構造やパラグラフ間の構造を意識して読むことができる。 ・辞書に頼りすぎないで、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用しながら読むことができる。	・事実や意見等を多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、自分の意見や考えなどについて相手に説明したり、また発表された相手の情報や考えに対して質問するなど、情報交換や意見交換をすることができる。 ・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて自分の意見をまとめ、また相手の主張を即座にまとめて、それに対して、理由と具体的な事例を与えたりしながら建設的に反論することができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明をすることができる。	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり調査したりして結論をまとめ、発表することができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明をすることができる。 ・知識のある社会的なテーマについて、情報を整理し要点とともに自分の意見を述べることができる。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことを、情報や考えを整理し、その内容を発表することができる。 ・発表の際には抑揚やジェスチャー、声の強弱など、たくさんの方法を用いて伝えることができる。	・主題を決め、さまざまな種類の文章を書くことができる。 ・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落から成る英文を書くことができる。 ・書いた内容を読み返して推敲することができる。 ・社会的な話題や時事問題について書かれている説明や評論などを精読して、情報や考えなどの要点や詳細を 100 語程度の英文に要約できる。 ・与えられたトピックに関して、一定の準備時間で自分の意見を明確にしながら、まとまりのある文章を書くことができる。 ・特定のトピックに関して、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を 5 パラグラフの形式で書くことができる。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	構文を正しく理解し、使うことができる。リスニング教材を使い各場面の英語を聞いて情報をつかむ。	日常的な話題や社会的に話題について、手に入れた情報や自らの考えを整理し、状況や目的に合わせて外国語を用いて適切に表現したり伝えあったりしている。また外国語で与えられる情報や、話し手や書き手の意図などを的確に理解している。	コミュニケーションに関心を持ち聞き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら間違いを恐れずに積極的に外国語を用いコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	プレテスト1～6回	リーディング ・対話文完成 ・不要な文の指摘 ・発言の主旨 ・長文読解 ・文法・語法・語彙 ・語句整序 ・応答文完成 ・図表読み取り ・案内文読み取り ・複数情報源読み取り リスニング ・場面別リスニング練習 ・対話とモノローグ	a: 質問に答える際に、イディオム、構文、文法の正確な知識を活用できているか。 b: 日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて話している c: 日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている。	定期考査	定期考査	課題 パフォーマンステスト

※令和４年度以降入学生用

2学期	プレテスト　7～12回	リーディング ・対話文完成 ・不要な文の指摘 ・発言の主旨 ・長文読解 ・文法・語法・語彙 ・語句整序 ・応答文完成 ・図表読み取り ・案内文読み取り ・複数情報源読み取り リスニング ・場面別リスニング練習 ・対話とモノローグ	a: 質問に答える際に、イディオム、構文、文法の正確な知識を活用できているか。 b: 日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて話している c: 日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている。	定期考査	定期考査	課題 パフォーマンステスト
3学期	プレテスト　13～15回	リーディング ・対話文完成 ・不要な文の指摘 ・発言の主旨 ・長文読解 ・文法・語法・語彙 ・語句整序 ・応答文完成 ・図表読み取り ・案内文読み取り ・複数情報源読み取り リスニング ・場面別リスニング練習 ・対話とモノローグ	a: 質問に答える際に、イディオム、構文、文法の正確な知識を活用できているか。 b: 日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて話している c: 日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて話そうとしている。	定期考査	定期考査	課題 パフォーマンステスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度